

【 稲城市 】胃がん検診（胃部エックス線検査） 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況>

| | |
|--|-------|
| 対象年齢（50歳以上：隔年） ※胃部エックス線検査は40歳以上に毎年実施可 | している |
| 検査方法（胃部エックス線検査） | している |
| 検査方法（胃内視鏡検査） | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 16,133 | 17,129 | 33,262 |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：56.4%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 169 | 194 | 363 |

※<国の指針に基づく胃がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 3.1% | 3.9% | 3.5% |
| 要精検率 | 11%以下 | 5.9% | 7.7% | 6.9% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 80.0% | 73.3% | 76.0% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 20.0% | 20.0% | 20.0% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 0.0% | 6.7% | 4.0% |
| 陽性反応適中度 | 1.0%以上 | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| がん発見率 | 0.11%以上 | 0.00% | 0.00% | 0.00% |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|--------------|
| 対象年齢以外の実施 | 胃部X線（35～39歳） |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

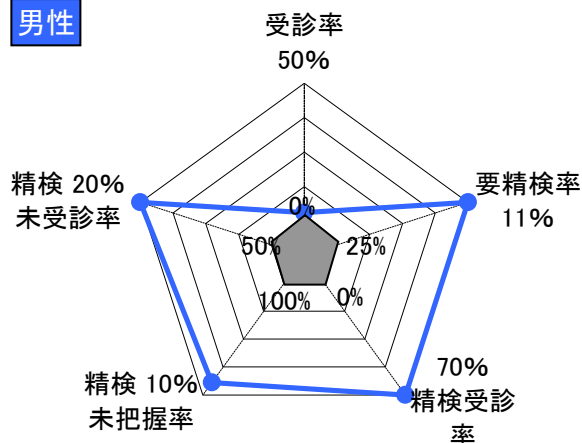
プロセス指標についての解説

リンク先：「とうきょう健康ステーション」>

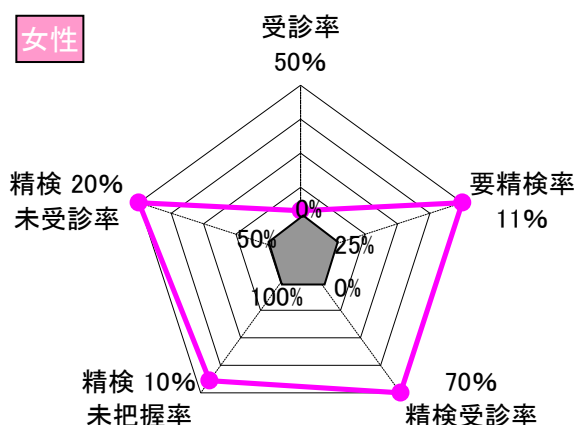
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

【 稲城市 】 大腸がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況>

| | |
|------------------|------|
| 対象年齢（40歳以上） | している |
| 検査方法（便潜血検査（二日法）） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|--------|--------|--------|
| 該当年齢の人口 | 24,576 | 24,748 | 49,324 |
| 【東京都調査による対象者率（市町村部）：59.6%】 | | | |
| 実際の受診者数 | 2,879 | 4,519 | 7,398 |

<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

※<国の指針に基づく大腸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上（精検含む）体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標（プロセス指標）>

| | あるべき値 （許容値等） | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|-------|-------|-------|
| 受診率 | 目標値50% | 19.7% | 30.6% | 25.2% |
| 要精検率 | 7%以下 | 11.1% | 7.4% | 8.8% |
| 精検受診率 | 70%以上 | 48.0% | 47.4% | 47.7% |
| 精検未把握率 | 10%以下 | 31.7% | 27.9% | 29.8% |
| 精検未受診率 | 20%以下 | 20.4% | 24.6% | 22.5% |
| 陽性反応適中度 | 1.9%以上 | 2.5% | 3.3% | 2.9% |
| がん発見率 | 0.13%以上 | 0.28% | 0.24% | 0.26% |

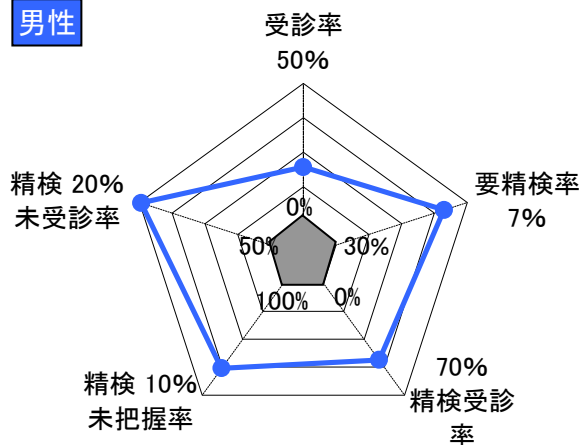
プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

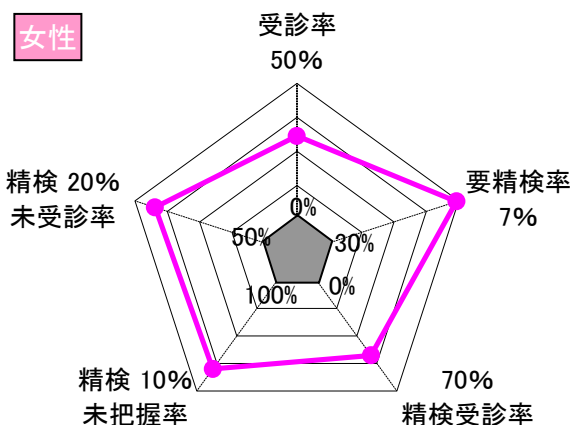
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

男性



女性



【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。

<精検未受診率>

精検未受診率が高いため、精検受診勧奨を行うなど精検未受診者を減らす取組が重要です。

【 稲城市 】 子宮頸がん検診 平成28年度プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（20歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（細胞診） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 34,843 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：60.4%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 892 | |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

※<国の指針に基づく子宮頸がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 8.0% | |
| 要精検率 | 1.4%以下 | | 2.7% | |
| 精検受診率 | 70%以上 | | 87.5% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 12.5% | |
| 精検未受診率 | 20%以下 | | 0.0% | |
| 陽性反応適中度 | 4.0%以上 | | 0.0% | |
| がん発見率 | 0.05%以上 | | 0.00% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

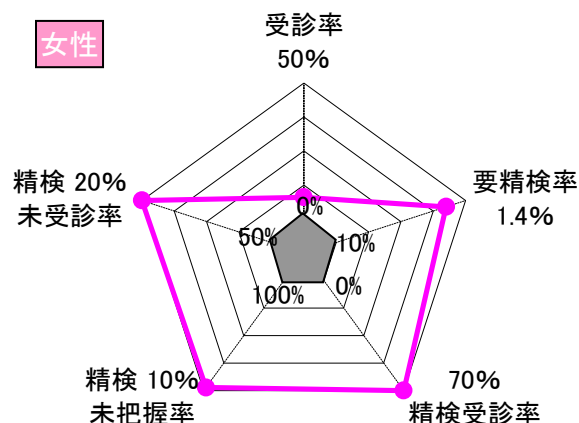
『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。

<要精検率>

要精検率が高くなるほど、「要精検」といわれたが実際にはがんではなかった方（偽陽性）の割合が増える可能性があり、受診者に身体的・経済的・精神的負担をかけるなど、検診の不利益が拡大する恐れがあります。また、受診者特性の変化により要精検率が高くなる場合もあります。

<精検未把握率>

精検未把握率が許容値達成まであと一歩です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握を進めましょう。



【 稲城市 】 乳がん検診 プロセス指標等一覧シート

<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況>

| | |
|----------------|------|
| 対象年齢（40歳以上：隔年） | している |
| 検査方法（マンモグラフィ） | している |

<国の指針に基づくもの以外の実施状況>

| | |
|------------|-------|
| 対象年齢以外の実施 | していない |
| 左記以外の検査の実施 | していない |

<住民の検診受診状況>

| | 男性 | 女性 | 男女計 |
|----------------------------|----|--------|-----|
| 該当年齢の人口 | | 24,748 | |
| 【東京都調査による対象者率(市町村部)：63.9%】 | | | |
| 実際の受診者数 | | 1,373 | |

<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>

| | |
|-----------------|-------|
| 対象者の名簿を作成して台帳管理 | している |
| 個別に受診勧奨 | していない |
| 過去5年間の受診歴を記録 | している |
| 精検未受診者への精検受診勧奨 | していない |

※<国の指針に基づく乳がん検診の実施状況><国の指針に基づくもの以外の実施状況>は平成30年度の状況、<区市町村の受診率向上(精検含む)体制>は平成29年度の状況である

<がん検診の質を評価する指標(プロセス指標)>

| | あるべき値 (許容値等) | 男性 | 女性 | 男女計 |
|---------|-----------------|----|-------|-----|
| 受診率 | 目標値50% | | 16.9% | |
| 要精検率 | 11%以下 | | 8.0% | |
| 精検受診率 | 80%以上 | | 71.8% | |
| 精検未把握率 | 10%以下 | | 22.7% | |
| 精検未受診率 | 10%以下 | | 5.5% | |
| 陽性反応適中度 | 2.5%以上 | | 2.7% | |
| がん発見率 | 0.23%以上 | | 0.22% | |

プロセス指標についての解説

リンク先:「とうきょう健康ステーション」>

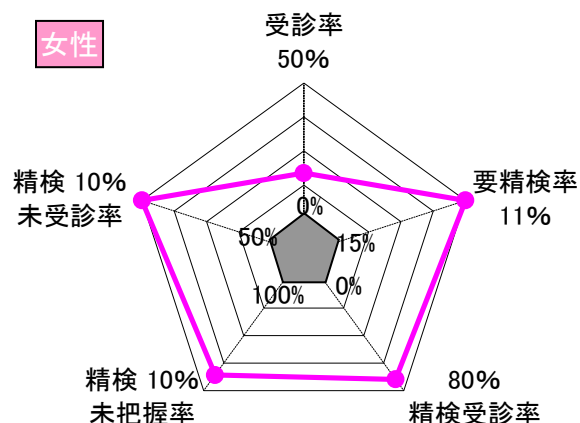
「統計に用いる主な比率及び用語の解説」

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/toukei/data/kaisetu.html>

【評価結果】

<受診率>

『がん検診受診率向上の手引き』等を参考にして、受診率50%を目指す必要があります。



<精検受診率>

まずは許容値以上となるように、精検受診勧奨を行ってください。

<精検未把握率>

高めの精検未把握率です。自治体が行う対策型検診として、事業評価のために『要精検』となった方々のその後の状況把握が必要です。